

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名		設置認可年月日	校 長 名		所 在 地		
専門学校 未来ビジネスカレッジ		昭和61年10月30日	千村 重平		〒390-0841 松本市渚2丁目8番5号 (電話) 0263-26-5500		
設 置 者 名		設立認可年月日	代 表 者 名		所 在 地		
学校法人未来学舎		昭和61年10月30日	理事長 青山 織人		〒390-0841 松本市渚2丁目8番5号 (電話) 0263-26-5500		
目 的	<p>本校は、学校教育法及び専修学校設置基準に基づき、高等学校における教育の基礎の上に、職業もしくは実際生活に必要な技能と教養の向上を図るため、情報ならびに経営に関する専門的な教育を行い、社会の発展に寄与できる優秀な人材を育成することを目的とする。</p> <p>人と動物の絆は、現代の環境的、社会文化的、家族的、心理的要因等によって深まり続けている。動物が「家族」や「伴侶」として存在し、動物医療が年々高度になる中で、動物看護師学科では人間力を持って飼主を支援し、プロとして動物看護にあたる人材を育成する。</p> <p>平成26年度からは動物看護師の高位平準化・国家資格化に向けて、動物看護師統一認定機構が推奨するコアカリキュラムに一新し、動物看護師統一認定試験合格を目指す。</p>						
分野	課程名	学科名		専門士	高度専門士		
工業	商業実務専門課程	動物看護師学科		平成23年12月22日 文部省告示第167号	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数 80	講義	演習	実習	実験	実技
	昼間		35	14	55	—	—
単位時間							
生徒総定員		生徒実員		専任教員数		兼任教員数	総教員数
60人		51人		2人		3人	5人
学期制度	■前期：4月1日～9月24日 ■後期：9月25日～3月31日		成績評価		■成績表：有 ■成績評価の基準・方法 出席数(1単位につき90分授業15回以上の出席)、授業態度、期末試験・期末課題等により、秀、優、良、可、不可の5段階評価		
	■学年始め：4月10日 ■夏 季：7月26日～8月20日 ■冬 季：12月20日～1月9日 ■春 季：2月24日～4月8日 ■学 年 末：3月31日				卒業・進級条件		■進級条件：なし(単位制) ■卒業条件：80単位以上取得

生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ■クラス担任制「有」 	課外活動	<ul style="list-style-type: none"> ■課外活動の種類 学校祭、スポーツ大会(年1回) 運動会(年1回)、学科研修旅行
	<ul style="list-style-type: none"> ■長期欠席者への指導等の対応 ①担任教員の個別面談、学生への電話、メール ②担任教員の保護者連絡、保護者面談 ③学校長・副校長・学部長面談 ④個別カウンセリング(外部連携) 		<ul style="list-style-type: none"> ■サークル活動： 有
就職等の状況	<ul style="list-style-type: none"> ■主な就職先 動物病院 ペットショップ 畜産業 等 	主な資格・検定	<ul style="list-style-type: none"> ■動物看護師統一認定資格 ■愛玩動物飼養管理士1、2級 ■ワープロ検定 ■表計算検定 ■家畜人工受精師
	<ul style="list-style-type: none"> ■就職率^{※1} : 100% 		
	<ul style="list-style-type: none"> ■卒業者に占める就職者の割合^{※2} : 100% 		
	<ul style="list-style-type: none"> ■その他 		
	<p>(平成29年度卒業者に関する 平成30年3月31日時点の情報)</p>		
中途退学の現状	<ul style="list-style-type: none"> ■中途退学者 0名 ■中退率 0.0 % 平成29年 4月 1日在学者 51名 (平成29年4月入学者を含む) 平成30年 3月31日在学者 51名 (平成30年3月卒業生を含む) 		
	<ul style="list-style-type: none"> ■中途退学の主な理由 進路変更・就職、経済的理由、病気療養、学校不適応 		
	<ul style="list-style-type: none"> ■中退防止のための取組 ①担任教員の個別面談、学生への電話、メール ②担任教員の保護者連絡、保護者面談 ③学校長・副校長・学部長面談 ④個別カウンセリング(外部連携) ⑤各種心理検査の活用 		
ホームページ	URL : http://www.mirai.ac.jp/mit		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したもとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

（「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。）

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

動物看護師学科において、動物病院における動物看護師として就職することは在籍する学生の主たる目的であり、動物医療の現場が求める動物看護師像を把握し、より実践的な人材育成のために一貫した教育を施す必要がある。そのため、動物看護および動物医療業界等の外部人材を活用し、学校と業界等が参画する教育課程編成委員会を設置し、委員会での協議事項について教務部で検討した結果を以後の教育課程編成及び授業内容に反映することで、業界等からの要望や最新動向を踏まえた教育を行うことを基本方針とする。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成 30 年 3 月 31 日現在

名 前	所 属
加藤 博史	医療法人社団敬仁会 桔梗が原病院 放射線部 技師長
遊座 晶子	一般社団法人 日本動物看護職協会 副会長
福澤 美雪	学校法人未来学舎専門学校未来ビジネスカレッジ 学科長
岡野 剛	学校法人未来学舎専門学校未来ビジネスカレッジ 学科専任講師

(開催日時)

- 第1回 平成27年2月12日 15:00~16:00
- 第2回 平成27年9月13日 14:30~16:00
- 第3回 平成28年2月25日 14:30~16:00
- 第4回 平成28年10月13日 14:30~16:00
- 第5回 平成29年2月27日 14:00~16:00
- 第6回 平成29年9月21日 14:30~16:00
- 第7回 平成30年2月27日 14:00~16:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

動物看護師学科において、より実践的かつ専門的な高度職業教育を行うために学校と企業・業界団体等が講師契約を締結し、その連携のもと、動物看護師統一認定機構および動物医療業界の人材育成ニーズに沿った教育課程に基づき、外部講師による実習および演習の機会を提供し、動物看護職としての職業観・勤労観を育むとともに、知識と技術の向上を図ることを企業等との連携に関する基本方針とする。

科目名	科目概要	連携企業等
動物臨床検査 実習 I	X線装置の撮影法と撮影時の動物のポジショニング、X線撮影後のフィルムの現像、適切な管理、基本的な読影について、超音波装置の取り扱いと検査時の動物のポジショニング、心電図の原理および基本的波形の検査意義、心電計の適切な取り扱いと検査時の動物のポジショニングを理解し、実践的に学ぶ。	医療法人社団敬仁会 桔梗が原病院
臨床腫瘍看護	腫瘍の発生・分類の理解、様々な腫瘍症例についての協議・検討、飼主の心のケアについての演習、化学療法剤の管理・ペインコントロールについての理解、術前術後の看護実践について実践的に学ぶ。	みかん動物病院

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

研修は、教職員に対し、現在就いている職又は将来就くことが予想される職に関わる職務の遂行に必要な知識又は技能を修得させ、その遂行に必要な能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。

このことは、以下のように就業規則第19条にも定められている。

「教職員は、その職務の遂行のため、自発的研修に励み、かつ、学校または各種団体の行う研修を受け、資質の向上に努めなければならない。」(細則については【添付1-3-1】参照)

動物看護師学科においては、動物医療現場に必要な最新かつ実践的な能力、技術を強化するために獣医師会、動物看護職協会、その他関連団体が実施する学会、研修、セミナー、勉強会等に積極的に教員を参加させる。さらに、指導力の修得・向上等の研修にも参加させることを基本方針とする。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成30年3月31日現在

名前	所属
伊藤 亮二	松本商工会議所 事務局長
片瀬 拓弥	清泉女学院短期大学 准教授
澤田 友行	ナチュラル・サワダ 代表
荒崎 元徳	株式会社たちばな Web事業部 レンタル衣裳・COMチーム
山田 佳代子	ポアレスチュール 経営者
小野 キミ子	Wonder House 経営者
溝口 諒	でざいんと 経営者
加藤 博史	医療法人社団敬仁会 放射線部 技師長
田中 優子	卒業生同窓会 会長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <http://www.mirai.ac.jp/mit> 【情報公開】 ページ

5. 情報提供

(情報提供の方法)

学校ホームページ、広報誌等の刊行物、その他(卒業制作展、学科ブログ)

URL : <http://www.mirai.ac.jp/mit> 【情報公開】 ページ

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 動物看護師学科)平成 29 年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○		情報リテラシー	パソコン OS の基本操作、インターネット活用、ワープロ、表計算、プレゼンテーション技法など、企業で多く活用されている Office 系ソフトの基本操作を習得し、検定取得を目標とする。	1通	60	2			○	○		○		
	○		キャリアプランニング	キャリア教育の一環として、ライフデザインの考え方、他者とのコミュニケーションの取り方、履歴書作成、企業情報の取得方法、面接指導などを実施する。	1通	60	2	○			○		○		
	○		実務教養	就職試験対策や企業に入る前に必要な一般教養を修得する。【サービス接客マナー、経済学、経営学、心理学、販売学、時事問題、就職用 SPI 対策、漢字検定対策、数学検定対策など】	1通	60	2	○			○		○		
	○		総合演習	リメディアル教育【読み・書き・計算】及び生きる力【生活指導・道徳指導・内外ボランティア】など、専門知識・技能の修得の土台となる学習態度・基礎的知識を向上させる。	1・2通	60	2		○		○		○		
○			動物形態機能学	動物の体の構造、筋骨格系、神経系、循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌系、感覚器系の形態および機能についての理解。	1通	150	5	○			○			○	
○			動物病理学	発病のメカニズムと生体反応について学ぶ。疾病の成り立ち、退行性変化、進行性変化、循環障害、炎症、免疫異常、腫瘍、先天異常などについて理解する。	2前	30	1	○			○			○	
○			動物疾病看護学	神経系、循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、生殖器系、内分泌系、筋骨格系、感覚器系の疾患について、主な症状、診断・治療法、看護方法について学ぶ	1後・2通	150	5	○			○			○	
○			動物薬理学	薬物の体内動態、剤形、投与方法について学び、各薬物の作用、作用機序、副作用について理解する。	2後	30	1	○			○			○	

(商業実務専門課程 動物看護師学科)平成 29 年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			動物感染症学	感染の定義、成り立ち、感染経路、予防について理解する。微生物(細菌、ウイルス、真菌、原虫など)について、その分類、構造、増殖について理解する。内部寄生虫、外部寄生虫の生態、感染経路、ライフサイクル、予防法、検査法について理解する。	1前	60	2	○			○			○	
○			病原体・衛生管理	病原体に対する知識を深める。ワクチンと予防に関し、免疫、ワクチンの意義、種類、効果、副反応、ワクチネーションプログラムについて理解する。ワクチンで予防できる疾病について学ぶ。	1後	30	1	○			○		○		
○			動物栄養・健康管理学	動物の日常管理、適正飼育、ウェルネスプログラム、定期健康診断について理解する。また、動物の栄養状態の評価、五大栄養素、ペットフード、疾患別栄養管理、ライフステージ別栄養管理、与えてはいけない食物について理解する。	1通	90	3	○			○		○	○	
○			動物医療関連法規	獣医療現場、公衆衛生、環境関連の動物医療関連法規(獣医師法、獣医療法、動物愛護及び管理に関する法律、ペットフード安全法、身体障害者補助犬法、狂犬病予防法、家畜伝染病予防法、薬事法、食品衛生法など)について理解を深める。	1前	30	1	○			○		○		
○			公衆衛生学	公衆衛生の基本的な考え方を理解し、健康増進、動物福祉、環境保全等に関する知識を身につける。ズーノーシスの定義、疫学、病原体、感染経路、症状、治療法、予防法、対策法について理解する。消毒・滅菌について理解する。	1前	30	1	○			○			○	
○			動物人間関係学	ヒューマンアニマルボンド®の概念、動物介在活動、動物介在療法、動物介在教育について理解し、動物と人との絆について考えを深める。	2後	30	1	○			○			○	
○			動物行動学	犬や猫の起源、種類による特徴、行動様式(生得的行動、個体維持行動、社会維持行動、生殖行動など)、適正飼育、ハンドリング、しつけ(行動理論、問題行動、トレーニングなど)について理解する。	1通	60	2	○			○		○		

(商業実務専門課程 動物看護師学科)平成 29 年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			動物福祉論	動物福祉の歴史、日本における動物福祉の現状、5つの自由、動物病院における福祉、学校飼育動物の福祉、産業動物の福祉、実験動物の福祉、野生動物の福祉について理解する。	2後	30	1	○			○			○	
○			飼養管理学	犬猫以外の小動物の形態機能、生態、適正飼育、疾病について学ぶ。また、産業動物、実験動物、野生動物、展示動物についての知識を深める。	1通	60	2	○			○		○		
○			動物繁殖・看護学	犬猫の発情、交尾、妊娠、出産について学ぶ。出産に関しては、分娩開始の徴候、正規分娩の経過、出産に対する飼主へのアドバイス、分娩介助、難産について理解する。 また、動物看護過程、グリーフケアに関する理解を深める。	2前	30	1	○			○		○		
○			臨床動物看護学	動物看護者の倫理綱領、動物看護過程、動物看護技術について理解する。また、症状別の動物看護について知識を深める。	2通	90	3	○			○			○	
○			動物入院管理	看護目標の立案、目標達成のための計画、看護実践、看護記録、評価について実践的に学ぶ。また、入院動物の食餌管理、輸液管理、投薬管理、排泄物のケア、観察項目について実践的理解を深める。	2後	30	1	△	○		○			○	
○			幼齢動物・老齢動物管理	犬や猫の新生子期から幼齢期の飼育管理、疾病予防について理解する。また、老齢動物の身体的変化、適切な飼育環境、日常生活の介護、疾病看護、について理解する。	2前	30	1	△	○		○			○	
○			動物臨床検査学	動物病院で行われる各種検査(尿検査、糞便検査、血液検査、X線検査、超音波検査、心電図検査、内視鏡検査、CT、MRIなど)において検査の意義や基礎知識について学ぶ。	1後	30	1	○			○			○	

(商業実務専門課程 動物看護師学科)平成 29 年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当 当年次 学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業 等との 連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験・ 実 習・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			院内コミュニケーション(救急救命対応含む)	ホスピタリティ精神を理解し、飼主目線での動物看護師のあり方をまなび、基本的なコミュニケーション能力を身につけ、動物病院内での実践的な業務に役立てる。 また、適切な救急救命処置を速やかに行えるように、機材、薬剤の確保、救命措置の訓練を行う。	1 後・2 通	90	3	△		○	○	○	○		
○			クライアントエデュケーション	飼主からの信頼を得るための接遇スキルを身につけ、ワクチン接種、フィラリア予防、避妊・去勢、寄生虫予防、デンタルケア、幼齢動物・高齢動物のケアなどについて飼主に適切な指導を行えるようにする。	2 前	30	1	△	○		○		○		
○			動物飼育実習	犬や猫の適切な飼養管理を理解したうえで、しつけ、トレーニングについて実践的に学ぶ。また、犬猫以外の小動物(ウサギ、ハムスター、チンチラ、モルモット、フェレット、小鳥など)の飼育方法について実践的に学ぶ。	1 通・2 前	150	5	△		○	○		○		
○			動物看護実習	保定方法の習得、バイタルチェック、輸液管理、注射器の扱い、調剤、創傷管理、グルーミング(ブラッシング、爪切り、耳そうじ、肛門嚢処理、クリッピング、シャンプー、ドライイング、薬浴など)について実践的に学ぶ。	1 通・2 前	240	8	△		○	○		○	○	
○			動物臨床検査学実習Ⅰ	X線装置の撮影法と撮影時の動物のポジショニング、X線撮影後のフィルムの現像、適切な管理、基本的な読影について、超音波装置の取り扱いと検査時の動物のポジショニング、心電図の原理および基本的波形の検査意義、心電計の適切な取り扱いと検査時の動物のポジショニングを理解し、実践的に学ぶ。	1 前	30	1	△		○	○			○	○
○			動物臨床検査学実習Ⅱ	臨床検査(尿検査、糞便検査、血液検査、微生物検査、細胞診など)について理解を深め、実践的に学ぶ。	1 通・2 前	210	7	△		○	○		○	○	
○			外科動物看護実習	手術補助、麻酔管理、血管確保、気道確保、輸液管理、生体モニター管理、術後管理などについて理解し、実践的に学ぶ。	1 後・2 前	90	3			○	○		○	○	

(商業実務専門課程 動物看護師学科)平成 29 年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			臨床腫瘍看護	腫瘍の発生・分類の理解、様々な腫瘍症例についての協議・検討、飼主の心のケアについての演習、化学療法剤の管理・ペインコントロールについての理解、術前術後の看護実践について実践的に学ぶ。	1後	30	1	△	○		○			○	○
	○		総合臨床実習	修学した知識・技術を生かし、実際の動物医療の現場で体験・実習を行う。診療の流れを学び、専門職としての役割を知ることで、より動物看護師のあり方を理解する。	2通	150	5			○		○			○
	○		業界研究	さまざまな動物業界での実習を通して、今後の業界の役割、動物と人との関係、自分のあり方を考え、理解する。	2通	150	5			○		○			○
	○		総合実習	動物臨床検査実習、外科動物看護実習、動物飼育実習についてより理解を深める。	2通	240	8			○	○		○		
	○		卒業研究・制作	動物関連のテーマを設定し、そのテーマに沿って深く研究を行う。	2通	240	8			○	○		○		
	○		動物看護師試験対策	3月に行われる動物看護師統一認定試験に向けた試験対策演習。	2通	240	8	△	○		○		○	○	
合計			35 科目		2400 単位時間(80 単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件: 80 単位以上の単位取得	1 学年の学期区分	2 期
履修方法: 【必修科目】62 単位【選択必修科目】18 単位	1 学期の授業期間	17 週
単位制履修に関する留意事項		
①30 単位時間を 1 単位とする。1 年間に取得できる単位は最大 45 単位までとする。		
②単位数が 2 以上の科目は、30 単位時間の倍数で任意に分割して履修させることがある。		

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。